



学校だより

教育目標 自主自律 創造性
 豊かな心 健やかな身体
校訓 井草魂～自主、不屈の精神、共感・共働の心～

令和 6 年 6 月 28 日

杉並区立井草中学校
校長 田口 克敏

「選択」

校長 田口 克敏

現在の井草中学校の「朝礼」は、校長が話をする「全校朝礼」と生徒自身の手で運営する「生徒会朝礼」を交互に行っています。教員の手による「全校朝礼」だけでなく、生徒の主体性を育みたいとの考えから実施しています。そのため、大体月に2回程度「全校朝礼」が巡ってくるのですが、1回目は体育館での集合形式での朝礼とし、2回目は「Teams」を使つての各教室への「配信型」で行っています。新型コロナウイルス感染症対策で身に付いたリモートのスキルを失わないためにそのようにしています。今週24日(月)は、今月2度目の「全校朝礼」でしたので、作成したプレゼン資料をもとに行いました。テーマは、前日の「6月23日」を取り扱ったものにしました。

「6月23日」と聞いてすぐに何の日か分かる日本人は、「8月15日」が何の日か分かる人の数に比べると大変少ない気がします。「沖縄県」を除いては、「6月23日」は、先の戦争において国内唯一の地上戦と呼ばれる「沖縄戦」での組織的な戦いが終わった日として「慰霊の日」と定められている日です。

このことについて話をした後、自宅でネット配信の番組を検索する中で、気になる主題のドキュメンタリー映画があったのでそれを何とはなしに見ることにしました。題名は「生きろ 島田叡一戦中最後の沖縄県知事」でした。正直、この映画を見るまでは「島田叡(あきら)」という人物についても、また戦中最後の沖縄県知事が何をしたのかもほとんど知らず、自分自身の不明を恥じました。

島田さんは、兵庫県出身で旧制第三高等学校から東京帝国大学法学部を出て当時の内務官僚の道を進みました。東大時代は野球部のスター選手でもあったようで、その活躍ぶりから「野球殿堂博物館」に建立された「戦没野球人モニュメント」にも名前が刻まれているそうです。島田さんは、時代とは一線を画するような自由主義的な考え方から、内務官僚としては中央エリートの路線から大きく外れ、地方勤務を重ねていたようで、沖縄県知事になる前は大阪府内政部長の職にありました。

沖縄県は、1944年10月10日の空襲以降、いつアメリカ軍が上陸してきてもおかしくはない状況となります。島田さんが知事就任を打診されたのは1945年1月10日のことで、誰から見てもそれに応じることは死地に飛び込むようなもの、とみなされていました。家族は就任を辞退するよう懇願しますが島田さんは「誰かが、どうしても行かなならんとあれば、言われた俺が断るわけにはいかんやないか。俺は死にたくないから、誰か代わりに行って死んでくれ、とは言えん」と言い、沖縄に向かったそうです。着任後、島田知事は派遣軍と連携しつつ県民の「疎開」を進めたり、県民の食糧調達のため台湾から米の調達に奔走したり、厳しい統制下にあった酒や煙草の特別放出をさせるなど、少しでも沖縄県民を安心させるために努力しました。アメリカ軍上陸後も県庁職員とともに県民の安全確保に努めるものの「鉄の暴風雨」と言われた凄まじい攻撃のもとでは如何ともなし難く、軍が南部へ撤退を決めた際には「避難民が多くいる南部に移動することは住民が巻き添えになる」と強く反対したそうです。

そうした島田知事も、6月9日に県職員・警察官を集め「どうか命を永らえてほしい」と訓示してその解散を命じた後、摩文仁の丘の壕を荒井退造県警察部長とともに出たまま消息を絶ち、遺体はいまだに発見されていないとのことです。現在、摩文仁の丘には当時の島田知事や県庁職員他の慰霊のために「島守の塔」や慰霊塔が建立されています。次回沖縄を訪れたら必ず参ってみたい、そう思います。

人生は選択の連続と言われます。ケンブリッジ大学のある研究によれば「人は一日に最大35000回の選択をしている」とのことです。「もしあの時あの選択をしていれば(していなければ)どうであったか」と考えることの一度や二度は誰にでもあることですが、その結果の成否はその時点では分かりません。しかし、その選択をするときには責任ある選択がやはり大切だ、と島田さんの例から改めて思います。

第76回運動会

6月1日(土)運動会が行われました。台風や梅雨前線の動きが読めず、当日実施ができるのかを心配しましたが、お天気にも恵まれ予定通り行うことができました。今年度より、昨今の気象状況を鑑みて、熱中症防止の観点から午前中だけの開催となりましたが、選手や係の仕事など、常に全力で活動する姿は本当に素敵でした。生徒の皆さん、お疲れ様でした。



<運動会生徒実行委員長より>

今年の運動会は変わるところが多かったため、とても大変でした。時間の短縮により、早く行動し、運営していかないとはいけず、全体をまとめることは本当に難しいことだと実感しました。

普段から学級をまとめている学級委員の人たちの大変さなどがわかり、感謝するべきだと思いました。来年の運動会も成功できるように、次に実行委員長をやる人は頑張ってください。

3年C組 柿島 椰々

<成績発表>

○優勝

1B 106点

2E 131点

3C 139点

○旗コンクール最優秀クラス

1A 2B 3A

○輝け光のi組がんばったで賞

i組



夏の連合移動教室 i組

6月12日から14日までの三日間、i組は夏の連合移動教室に行ってきました。天候にも恵まれ、ハケ岳の山並みがいっそう美しく感じられました。ガイドウォークでは、五感で清里の自然を楽しんでいる様子が見られました。ハケ岳牧場では間近で見る牛たちに驚きながら、餌やり、バター作り、搾乳体験などをしました。サントリー天然水南アルプス白州工場では、天然水ができるまでの行程や環境への取り組みを学ぶことができました。また区内特別支援学級設置校6校が合同でポッチャ交流を行いました。対戦を通じて他校の生徒と交流ができ、よい思い出づくりができました。生活面では、事前に学習してきた各係の役割を、一生懸命果たそうとする様子が見られました。今回の学びを、学校生活に生かしていけると良いと思います。

i組学級主任 泉崎和恵

< i 組 夏の連合移動教室の様子 >



井草中の日常紹介 6月の授業

< 岩崎 裕真 主任教諭(国語科) >

★1年 桑原茂夫「ちょっと立ち止まって」★

日々の授業では、「この国語の力はどこで生かすことができるだろう?」と考えること、物事を知っているだけではなく説明をすることで自分のものにしていくことを大切にしています。現在は『ちょっと立ち止まって』を読み、説明文の基本的な構造について学んでいます。

生徒は、以前読んだ説明文を読む技術を活用しながら、意欲的に授業に取り組んでいます。



< 唐木田 充孝 教諭(数学科) >

★3年 「2次方程式」★

今回の授業は、下のように実施しました。
めあて:平方根の考えによる2次方程式の解き方をできるようにしよう。

- ①先生が2次方程式の解き方を簡単に説明
- ②問題演習で各自教えあったり、答え合わせをしたりして、めあてに向かって勉強を進める。
- ③確認問題で、問題演習での勉強の成果がでているかを確認する。

3年C組担任 数学科の唐木田です。私は「困ったら助け合う」をコンセプトに日々授業しています。また、生徒ひとりひとりが毎回の授業でめあてを達成するために試行錯誤することを通して、課題や問題を解決する力を身に付けてもらいたいと考えています。

例えば、方程式を大人になっても使う人は少ないはずですが、方程式を使って課題を解決するために悩んだ経験はきっと役立つはず。ぜひ、無駄だと思わずに、皆と楽しく勉強しましょう。



＜7月の行事予定＞

日	曜	行事	日	曜	行事
1	月	全校朝礼 安全指導	16	火	
2	火	中央委員会	17	水	食育の日
3	水	校内研究会① (2E・3A・3C)	18	木	大掃除⑥(給食終) 水泳指導終
4	木	危機対応訓練 保護者会(i組)	19	金	終業式① 学活② 部活動再登校 16:00
5	金	専門委員会 漢字検定	20	土	夏季休業日始
6	土		21	日	
7	日		22	月	三者面談始 パワーアップ(補充)教室始
8	月	生徒会朝礼	23	火	
9	火		24	水	
10	水		25	木	
11	木		26	金	パワーアップ(補充)教室 終
12	金		27	土	
13	土	公開授業 道徳授業地区公開講座	28	日	
14	日		29	月	
15	月	海の日	30	火	三者面談終
			31	水	



茶道部にお招きいただきました!

以前から、3年生の茶道部員2名が、「副校長先生、茶道部に来てください!」と声をかけてくれていましたが、なかなかタイミングが合わず参加できませんでした。今回やっと条件が整い、顧問や外部指導員の了解も得られたことを受け、訪問が実現しました。

3年生のお点前を頂戴しましたが、きめ細かい泡立ちでとても美味しかったです。点てた本人は「緊張してお抹茶をたくさん入れてしまった。きっと苦いと思います。」と言っていました(笑)。

3年間活動すると複雑な手順や作法がきちんと身に付くのだと感心しました。『継続は力なり』ですね。

